

憲法擁護
核兵器廃絶
狭山闘争勝利

東京平和運動センター ニュース

NEWS

■ 2014年 12月号 月1回発行 134号

■ 発行所：東京都港区芝浦3丁目2番22田町交通ビル
東京平和運動センター

■ 発行人：桐田 達也 TEL・FAX 03-5443-4110



沖縄知事選挙で翁長氏勝利 （琉球新報より転載）

目	次
沖縄知事選挙平和フォーラム事務局長見解	2
止めよう辺野古基地県庁包囲行動	3
沖縄平和運動センターメッセージ	4
第51回 護憲岐阜大会	5
沖縄と連帯する東京集会	5
狭山事件再審を求める市民集会	6
活動日誌・当面の日程	7

翁長雄志さんの沖縄県知事選挙勝利 に関する 平和フォーラム事務局長声明

2014 年 11 月 17 日

フォーラム平和・人権・環境
事務局長 藤本 泰成

11 月 16 日に投開票された沖縄知事選挙は、翁長雄志（おなが・たけし）前那覇市長が 360,820 票を獲得し、辺野古新基地建設を推進する現職の仲井真弘多知事に 10 万票の大差をつけて勝利しました。同時に行われた、那覇市長選挙においても翁長市政を継承するとする城間幹子さんが、倍近い得票をもって勝利しました。「沖縄に新しい基地はつくらせない」とする沖縄県民の勇氣ある決断に、平和フォーラムは大きな拍手を送ります。

現職の仲井真知事は、4 年前の知事選で普天間基地の移設について「県外」を公約にして当選を果たしたにもかかわらず、昨年末その公約を翻し、辺野古への新基地建設容認に立場を変えました。しかし直後の名護市長選挙では、新基地建設に反対する稲嶺市長が大差で再選され、名護市の住民は辺野古新基地建設に NO！をつきつけました。その後の各種世論調査においても、辺野古の新基地建設に反対する世論は 7、8 割にもおよんでいます。

これに対して安倍政権は、新基地建設に向けたボーリング調査を強行して既成事実をつくり、「辺野古問題はすでに終わったこと」として選挙の焦点から外そうとしてきました。しかし県民世論は、民意を無視し県民の尊厳と誇りをないがしろにする政府に対して、「沖縄のアイデンティティー」を前面に出し、従来の保革の枠を超えて翁長さんへの支持を広げたのです。

お金さえ積めば意のままになるとする経済振興策や、政治的恫喝によって沖縄県民を翻意させようとする安倍首相の政治姿勢について、翁長さんは「民主主義の品格」が求められると痛烈な批判を当選後のインタビューで語っています。まさに、日本の民主主義の本質が問われた選挙であったともいえるでしょう。

日米の安全保障政策に影響力を持つジョセフ・ナイ元国防次官補など、米国からも辺野古移設は困難との見方が生まれています。日本政府は、今回の知事選で示された沖縄の民意を真摯に受け止めて、辺野古新基地建設を断念しなくてはなりません。日本政府が辺野古新基地建設にこだわる必然性は、消滅したものと考えます。

「沖縄によりそう」としてきた安倍首相の姿勢が問われています。平和フォーラムは、日本政府が沖縄の民意に沿った基地問題の解決を図るようとりくむことを強く要請し、辺野古新基地建設阻止に向けて全力を尽くすことを確認します。今回の沖縄県知事選挙での勝利をバネに、予想される衆議院総選挙での勝利をめざし、「戦争・原発・貧困・差別」の解消、一人ひとりの命に寄り添う政治の確立をめざしてとりくみをすすめることを訴えます。

速報

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

2014年(平成26年)
11月16日(日)

発行所 琉球新報社
〒900-0005 沖縄県那覇市久米町1-1-1
電話 098-866-1111
FAX 098-866-1112

新知事に翁長氏当確

辺野古反対に支持 移設計画影響も

任期満了に伴う第12回沖縄県知事選挙は16日投票が行われ、無所属新人で那覇市長の翁長雄志氏が約36万票を獲得し、現職の仲井真知事と最大の差を叩き出した。選挙結果は、県民の民意を無視し、辺野古への新基地建設を推進する現職の仲井真知事に10万票の大差をつけて勝利した。今回の知事選で示された沖縄の民意を真摯に受け止めて、辺野古新基地建設を断念しなくてはなりません。日本政府が辺野古新基地建設にこだわる必然性は、消滅したものと考えます。

「沖縄によりそう」としてきた安倍首相の姿勢が問われています。平和フォーラムは、日本政府が沖縄の民意に沿った基地問題の解決を図るようとりくむことを強く要請し、辺野古新基地建設阻止に向けて全力を尽くすことを確認します。今回の沖縄県知事選挙での勝利をバネに、予想される衆議院総選挙での勝利をめざし、「戦争・原発・貧困・差別」の解消、一人ひとりの命に寄り添う政治の確立をめざしてとりくみをすすめることを訴えます。

詳細はあすの紙面をお読みください

ryukyushimpo.jp

購読のお申し込みは フリーダイヤル 0120-395069

止めよう辺野古新基地建設！

12.4 県庁包囲行動に2200名結集

決 議

11月16日の県知事選挙で私たち県民は、辺野古新基地建設に反対する民意をあらためて示し、辺野古埋立てを承認した現職の仲井眞知事に10万票という圧倒的大差で勝利した。これ以上の基地押し付けを許さないという県民の強いメッセージだ。日米両政府はこのことをしっかりと受け止め即時に辺野古新基地建設を断念しなければならない。

他方、沖縄防衛局は、辺野古埋立て工事に名護市の協力が得られないことから、9月3日に工法の変更申請4件を県に提出しているが、その変更の根拠も姑息であり、なりふり構わず強行しようとする国のやり方は、到底認められるものではない。

沖縄防衛局は変更申請で美謝川の水路切り替えや土砂運搬方法の変更理由を環境保全などと説明してきたが、地元名護市との協議を回避するためだけの変更申請であることは明白であり、県から生物への影響が大きいと環境保全策の問題を指摘された美謝川の水路切り替え申請をあっさりと取り下げた。再三の質問の回答に時間を要するものは取り下げや後回しにし、本申請を承認した現知事の任期中に承認しやすいものから推し進めようとする沖縄防衛局の卑怯なやり方は国家の品格は微塵もなく県民を愚弄している。断じて許してはならない。



今、知事選に大敗した仲井間知事が工法の変更申請について判断をするのが県民をはじめ全国が注目をしている。県知事選挙の結果、自ら県政は「レームダック（死に体）」と発言し、埋め立て変更申請などの重要案件は次期翁長知事に委ねる意向を示していた。しかし、最近になって仲井眞知事は12月9日までの自身の任期中に可否判断しようと態度を変えている。当選した翁長新知事も自身に委ねるべきだとしており、現知事は最大限そのことを尊重すべきだ。まかり間違っても判断することは民主主義の否定であり私たち県民は決して認めない。辺野古新基地建設の是非が最大の争点で争われた県知事選挙の結果から、県民の民意は明確に示されたのだ。沖縄の将来に大きく左右する最重要課題を県民から強力な不信任を突き付けられた人が判断するべきではなく、これ以上の県民裏切りは許されない。

昨年の12月に辺野古埋立てを承認した時点で知事としての資質、権限は問われ続けてきた。11月28日に総理官邸で安倍首相や菅官房長官と会談しているが、昨年のように国の圧力に屈し、「いい正月を迎えられる」という無責任な発言は決して認めない。二度と県民の平和を願う心と尊厳を踏みにじってはならない。

ここに、今ある辺野古基地建設に係る工法の変更申請すべての可否判断を次期知事である翁長雄志新知事に委ねよう県民の総意として決議する。

2014年12月4日

止めよう辺野古新基地建設！ 12・4 県庁包囲県民大行動

沖縄知事選挙勝利

沖縄平和運動センターからの

メッセージ

沖縄県知事選挙と那覇市長選挙、ご支援の御礼

平和フォーラムに結集する都道府県護憲平和センター及び中央団体の仲間の皆さん。沖縄県知事選挙に対する熱いご支援、誠にありがとうございました。

翁長雄志氏の知事選挙勝利、城間みきこ氏の那覇市長選挙勝利に全国の皆さんと共に、祝杯を挙げたいと思います。

翁長雄志氏は、360,820票を獲得し、4人の候補者がありながらも、得票率は51.22%と過半数を超えました。現知事に99,744票差をつける圧倒的な勝利となりました。

翁長雄志氏の勝利は、選挙公約である「普天間基地の閉鎖・撤去、辺野古に新基地は絶対に造らせない。オスプレイ撤去」を柱とする県民への公約に、有権者の支持を集めた結果に他なりません。県民の示した当然の結果とも言えます。

翁長氏本人曰く「この選挙は、昨年末の現知事の辺野古埋め立て承認に対する審判」と訴えてきたとおり、県民は、現知事の県民に対する裏切りへの糾弾であり、また安倍政権に対して屈しないとする県民の誇りを示した選挙結果となりました。

このことは、私たち平和センターが、全国の皆さんと今日まで連帯し、基地のない平和な沖縄をめざして運動を継続してきた結果であると確信するものです。

翁長氏は地元紙のインタビューで辺野古新基地建設について、県庁内に専門的な見識を持っている方々と検証チームを設置し、昨年末、現知事の埋め立て承認に対し、「民意がこれだけ出てきた。新知事としての権限の行使、あるいは法律的な瑕疵に基づく取り消し、知事選に勝ったことを含めて撤回も視野に入れる」と明言しました。このことを推し進めていくのもまた私たちの今後の運動が伴わなければなりません。

すでに菅官房長官は、選挙後の記者会見で、「辺野古移設が唯一の解決策と一貫している。粛々と進めていきたい」の述べ、マスコミ報道では、海底ボーリング調査の再開と100m栈橋の工事を年内に行うとしています。

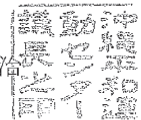
私たちは、全国の皆さんからご支援を受けながら取り組んでいる、ゲート前阻止行動及び海上阻止行動を今後も継続し、さらに県民運動を盛り上げていく所存です。

沖縄平和運動センターは、今知事選、那覇市長選挙への全国の仲間の皆さんのご支援、ご協力に心から感謝を申し上げますと共に、今後も運動の先頭にたって頑張っていく決意を申し上げ、御礼といたします。

2014年11月18日

沖縄平和運動センター

議長 山城 博 治



『戦争をさせない』私たちは平和主義を、
そして命を守ります！
憲法理念の実現をめざす第51回大会(護憲
大会)」 2014年11月1日～ 岐阜市



11月1日、岐阜市で「『戦争をさせない』私たちは平和主義を、そして命を守ります！憲法理念の実現をめざす第51回大会(護憲大会)」が、長良川国際会議場「さらさーら」をメイン会場に、全国・岐阜からの2000人が参加して開催されました。

今回の大会は、安倍内閣のもとで、歴史認識・靖国参拝などで中国・韓国など東北アジア諸国との関係を極端に悪化させる一方、特定秘密保護法の制定や、集団的自衛権の行使はできないと確立されている憲法解釈を閣議決定で覆し、戦争に参加する道をいっそう開くなど、憲法理念の破棄と平和国家の変更を露骨にすすめています。こうした状況を打開し、憲法のもっとも重要な基調を守り、戦争をさせないとりくみをすすめるための大会でした。

開会総会は、福山真劫・実行委員長の主催者あいさつ、河合良房・岐阜県実行委員長(弁護士)の地元あいさつ、民主党、社会民主党の連帯あいさつ。藤本泰成実行委員会事務局長が基調提案し、改憲阻止を呼びかけました。

「戦後70年に向けて、私たちが確認しなくてはならないもの—歴史認識・憲法・沖縄・脱原発」と題したシンポジウムでは、弁護士で戦争をさせ名1000人委員会事務局も務める内田雅敏さんが、安倍首相が修正を図る村山談話が戦後の保守内閣のもとでも積みあげられてきたものであることなど指摘しました。憲法学者で名古屋学院大学准教授の飯島滋明さんは集団的自衛権をめぐる問題について提起しました。

島ぐるみでつくる沖縄の未来
米軍基地に支配される未来を拒否
し、国のあり方を問う。

講演

玉城 義和さん 沖縄県会議員
「島ぐるみ会議」事務局

11月28日、田町交通会館6階ホールにおいて、「沖縄と連帯する東京集会実行委員会」が主催する、標記集会が開催されました。

沖縄知事選挙において、辺野古新基地建設に反対する翁長雄志氏が当選を勝ち取って、2週間後、集会は熱気に満ちたものとなりました。

この間の、「島ぐるみ」の運動を担ってきた、



沖縄県会議員の玉城義和さんから、現地の熱い思いをこめた講演が行われました。

玉城さんは、5つのキーワードを紹介し、現地の取り組みを報告しました。

- ① 沖縄県民の自主決定権
- ② 沖縄県民の誇りと尊厳
- ③ イデオロギーを残しつつの、アイデンティティー
- ④ 基地経済的阻害要因の暴露
- ⑤ オール沖縄の運動

そうした中で勝ち取った勝利を踏まえ、今後は、知事と県民運動の支えの中で、日米政府への働きかけを強めていかななくてはならない。そのためにも、オール沖縄の意志を国内世論にしていくための運動が大事であると述べ、全国各地の仲間の奮闘に期待を込めました。

不当判決から40年！今こそ事実調べ・再審開始を

狭山事件の再審を求める市民集会



1974年の寺尾有罪判決から40年目の10月31日、午後1時から日比谷野外音楽堂で狭山集会が開かれました。

前段には、高検・高裁への要請行動が行われました。

前日の10月30日に第20回三者協議が開かれ、検察から28点の新証拠が開示され、証拠開示が164点になったこと、弁護団からはこれまで139点の無実を明らかにする新証拠が提出されていることの報告がされました。

48年間幽閉されていた袴田事件の袴田巖さんが集会に参加し、「冤罪を防ぐには未開示証拠を開示することが必要」と訴えました。

なお、三者協議では、弁護団は証拠リストの開示を求めることを中心に臨んだが、この日、検察は頑なに「応じられない」とする意見書を出してきました。

戦争させない・9条壊すな！

11.11 総がかり国会包囲行動に7千人

7000人が国会議事堂を取り囲み、「安倍政権にNO！」の声をたたきつけました。11月11日夜、「戦争をさせない1000人委員会」と「解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会」が主催し「戦争させない・9条壊すな！総がかり国会包囲行動」が行われ、小雨まじりの中、国会周辺には続々と多くの人々が駆けつけました。

歩道をぎっしり埋めた参加者は、キャンドルやペンライトなどをかざし、時間を合わせて四方から「集団的自衛権行使容認、今すぐ撤回」「戦争する国、絶対反対！」「9条壊すな！」の同時コールを行いました。また、衆院解散の報道が流れる中で、「安倍はやめろ！」の声もひととき大きく響きました。



野党各党の議員や、鎌田慧さん、落合恵子さん、佐高信さんなど呼びかけ人が「憲法違反の閣議決定に基づく日米防衛ガイドラインや戦争関連法案制定を阻止しよう」などと決意表明を行いました

第 68 回東京平和運動センター

常任幹事会

2014. 12. 4

協 議 事 項

- 1 常任幹事の補充・変更について
新任 塩田 忠さん (自治退東京)
泉 尚巳さん (全農林東京)
- 2 戦争をさせない1000人委員会の取り組み
街頭宣伝署名行動を1月から3月にかけて月一回主要駅頭で実施
(詳細は地公労と協議)
- 3 さようなら原発1000万人行動について
当面、3.14 福島現地集会(詳細未定)への参加取り組みを進める
- 4 狭山事件再審の取り組み
狭山東京実行委員会の報告と確認
総会 12.18 (木) 17:00～
(田町交通ビル5F)
東京集会 2.19 (木) 18:30～
(田町交通ビルホール)
- 5 辺野古新基地建設反対の取り組み
引き続きカンパ活動を推進
- 6 オスプレイと飛行訓練に反対する東日本連絡会(仮称)への参加
- 7 群馬県 追悼碑裁判を支える会への参画
- 8 東京朝鮮高校生の裁判を支援する会への参画
- 9 次回幹事会
2月26日(木) 16:00～

活動日誌

- 10.31 狭山事件の再審を求める市民集会
(13:00～日比谷野外音楽堂)
- 11.01～03 憲法理念の実現をめざす第51回大会(護憲大会、岐阜市)
- 11.11 戦争させない・9条壊すな総がかり行動
(国会包囲行動)
- 11.28～29 第46回食とみどり、水を守る全国集会 (日本教育会館)



- 12.04 狭山東京実行委員会
- 12.04 東京平和運動センター常任幹事会
- 12.06 もんじゅを廃炉に！全国集会
(福井・敦賀市)

今後の日程

- 12.18 狭山東京実行委員会第20回定期総会
- 01.17 オスプレイと米軍機飛行問題全国交流会 (14:00 連合会館501)
オスプレイの配備と飛行訓練に反対する東日本連絡会(仮称)結成会議
(16:00 連合会館501)
- 01.20 TPP問題連続学習会
(18:30～連合会館)
- 01.31 故八木隆次さんを偲ぶ会
(14:00～連合会館)
- 02.11 憲法と「建国記念の日」を考える集会
(13:30～東京・日本教育会館)
- 02.19 狭山事件の再審を求める東京集会
(18:30 田町交通ビルホール)

